

北陸新幹線開業における 広域観光連携の可能性と課題

仕明 祐人¹・藤生 慎²・高山 純一³・中山 晶一朗⁴

¹学生会員 金沢大学大学院 自然科学研究科環境デザイン学専攻 (〒920-1192 石川県金沢市角間町)

E-mail: mei091142@gmail.com

²正会員 金沢大学助教 理工研究域環境デザイン学系 (〒920-1192 石川県金沢市角間町)

E-mail: fujii@se.kanazawa-u.ac.jp

³フェロー 金沢大学教授 理工研究域環境デザイン学系 (〒920-1192 石川県金沢市角間町)

E-mail: takayama@staff.kanazawa-u.ac.jp

⁴正会員 金沢大学教授 理工研究域環境デザイン学系 (〒920-1192 石川県金沢市角間町)

E-mail: nakayama@staff.kanazawa-u.ac.jp

2015年3月14日の北陸新幹線金沢開業に伴い、首都圏をはじめとした他地域の交流人口増加が期待される今、人気な観光名所・観光資源が数多く存在する北陸地域の広域観光連携は交通分野が取り組むべき重要な分野の一つである。本研究では、北陸新幹線開業前後で北陸地域を訪れる観光客の動態調査を行い、観光客の行動範囲の拡大を明確にし、北陸地域における広域観光連携の可能性と課題を検討する基礎的検討を行った。

Key Words : *tourism, Hokuriku shinkansen, questionair survey, Wakura, Nanao*

1. はじめに

北陸地域には、歴史的風情の漂う町並み（金沢・高岡）、名湯（宇奈月・和倉・加賀・芦原）、由緒ある寺院（瑞龍寺・那谷寺・永平寺・総持寺）、美しい山々（立山・五箇山・白山）、荒々しい海岸（東尋坊）、海産資源等といった豊かな観光名所・観光資源が多く存在しており、誘引力の高い観光地域である。加えて、白川郷や飛騨高山への容易なアクセスが可能であり、立地的利点もいくつか考えられる。

しかし、これらの観光地は旅行者に、単体で認識されていることが多いため、北陸地域全体の広域観光が促進されていない。これらの観光地を「1つの観光地域」としてリンクさせ、旅行者の滞在時間の引き伸ばしや、更にはリピーターを確保することが観光振興促進を行うためには必要であり、北陸新幹線開業に伴い当該地域への来訪者の増加が期待される今、新幹線を含めた交通手段の連携によって来訪者の広域観光を促進すること、即ち「広域観光連携」の推進が重要である。

そこで、本研究では新幹線開業による旅行者の行動範囲拡大を明確にすること、並びに北陸地域の観光進

行促進を目的とし、和倉温泉宿泊者・七尾市内宿泊者を対象にアンケート調査を行なった。

2. 既存研究の整理と本研究の位置づけの整理

北陸地域における観光振興の現状として鈴木ら¹⁾は次のように述べている。“北陸新幹線が開業し、より多くの観光客が金沢市を訪れることが著者らの既往調査により明らかになっている。既往調査の結果から首都圏在住者にとって金沢の魅力は高く、訪れたい観光地の評価で高評価を得ている。しかし、北陸新幹線開業や2015年4月期の朝の連続テレビ小説「まれ」の効果により金沢市を中心とした観光魅力は一時的に向上するものの、2016年3月に北海道新幹線の開業を控えており、北陸新幹線の開業効果を持続することが可能であるか否かについては疑問が残る。即ち、北陸新幹線開業により増加した観光客の維持が北陸地域の観光振興促進には重要である。

また、株式会社日本政策投資銀行²⁾によると、新幹線開業により、石川県への首都圏からの入込数は、観光で30.1%、ビジネスで27.8%増加すると見込まれてい

る。

本研究と既往研究の大きな違いは、新幹線開業前後における観光行動の比較を行う点、及び通年で観光動態・満足度調査を行う点である。このような調査の実施により、季節性を考慮した観光形態が明らかになる。

3. 石川県及び和倉温泉の観光の現状

平成16年から平成25年における石川県と和倉温泉の観光客の推移を図1³⁾に示した。いずれの観光客数も平成19年に大きく減少している。これは能登半島地震の影響と推測される。同様に、平成20年には東海北陸自動車道全線開通による観光客数回復、平成22年には新規施設のオープン、ねんりんピック石川2010開催による観光客数回復、平成23年には東日本大震災の影響による観光客数減少、平成25年にはのと里山海道無料化、円安等の影響による観光客数回復が推測される。また、全体を通して見れば、石川県を訪れる観光客数は暫定的に増加しているのに対し、和倉温泉を訪れる観光客数は伸び悩んでいる。即ち、増加した石川県を訪れる観光客の周遊観光を促進し、和倉温泉を訪れる観光客の増加を図りたい現状がある。

次に、平成25年度和倉温泉月別観光客入込客数を図2³⁾に示す。8月に観光客が最も多く訪れているが、8月以外の月では入込客数は伸び悩んでおり、特に1月、4月、7月では8月の半数ほどの入込客数となっている。したがって、8月以外の月では、和倉温泉街は観光客受入ポテンシャルを持って余しており、経済波及効果も小さいため、入込客数の増加を図りたい現状がある。

4. アンケート調査の概要

アンケート調査の概要を表1に示す。配布方法は温泉宿泊旅館・ホテルに委託しており、おおよそ手配布で行った。調査は全て温泉宿泊旅館・ホテルの宿泊客を対象とし無作為に配布し、後日郵送回収の形式で行った。

北陸新幹線開業前後のいずれの調査も回答者属性（お住まい・性別・年齢・職業・旅行頻度・訪問回数・人数）と旅行形態（予算・滞在期間・訪問動機・交通手段）を調査した。更に、開業後の調査では、旅行形態項目に訪問地・訪問施設・訪問動機・参加イベント・リピート意識・満足度・ニーズを追加し調査した。

加えて、開業後の調査には回収率を上げることを目的とした簡易的なアンケートを用意した。調査項目は

開業前の調査とほぼ同一である。調査アンケートの概要を図3～図7に示す。

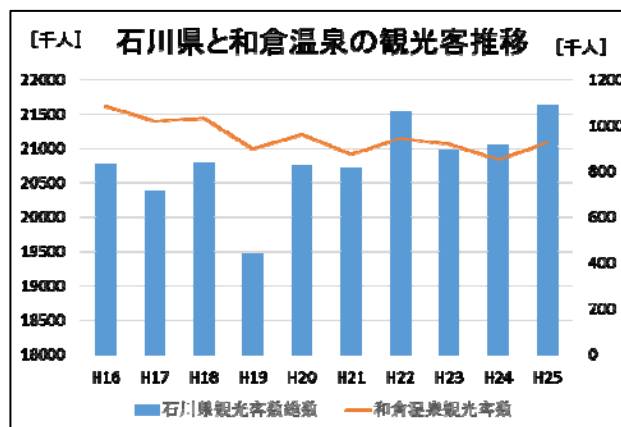


図1 石川県と和倉温泉の観光客推移³⁾

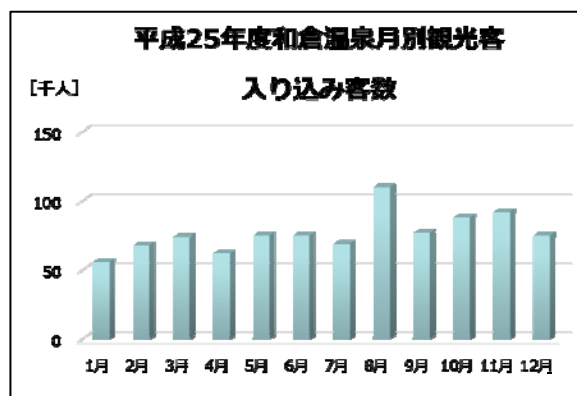


図2 平成25年度和倉温泉月別観光客入込客数³⁾

表1 調査概要

	開業前調査	開業後調査(詳細版)	開業後調査(簡易版)
調査期間	2014年11月 ～2015年3月	2015年4月 ～2016年3月	2015年4月 ～2016年3月
配布場所	和倉温泉宿泊宿, 七尾温泉宿泊宿	和倉温泉宿泊宿, 七尾温泉宿泊宿, 能登小牧台, 能登島	和倉温泉宿泊宿, 七尾温泉宿泊宿, 能登小牧台, 能登島
調査対象	旅館宿泊客	旅館宿泊客	旅館宿泊客
調査方法	手渡し配布, 後日郵送回収	手渡し配布, 後日郵送回収	手渡し配布, 後日郵送回収
調査項目	1.回答者の属性 2.旅行形態	1.回答者の属性 2.旅行形態 3.旅行満足度 4.ニーズ	1.回答者の属性 2.旅行形態
配布枚数	2000枚	-	-
回収率	63.30%	-	-

七尾市街 宿泊者アンケート調査

アンケートへのご協力をお願い

1. このアンケートは、宿泊者の皆様へのサービス向上と七尾市街の賑わい創出を目的に、金沢大学と七尾市・七尾市観光協会が連携して、宿泊者の皆様に対象として実施するものです。
2. このアンケートは、無作為に抽出された指定日に、宿泊された皆様全員（代表者の方）にお願いしている調査です。
3. 回答は無記名式ですので、書かれた方を特定することはありませんし、書いた内容を個別に公表することはありません。すべて、統計処理して、集計いたします。
4. 以上の点をご理解いただき、なにとぞ協力をお願いいたします。この調査に関するご質問がございましたら、下記お問い合わせ先までご連絡ください。

【実施責任者】金沢大学理工学研究域環境デザイン学系教授・高山 純一
(※七尾市産業・地域活性化懇話会 観光活性化分科会 産長)

【実施協力】七尾市・七尾市観光協会

【問い合わせ先】〒920-1192 金沢市角間町

金沢大学理工学研究域環境デザイン学系 交通・防災まちづくり研究室

教授：高山 純一、助教：藤生 慎

TEL 076-234-4613 FAX 076-234-4644

E-mail: takayama@staff.kanazawa-u.ac.jp

※七尾市産業・地域活性化懇話会とは

七尾市、七尾商工会議所、能登産北商工会、のと共済信用金庫と金沢大学とが協賛し、七尾地域が抱える産業と地域活性化に向け、地域の経済界と行政が意見交換を行うことを目的としています。



調査票記入上のお願

- (1) アンケート調査票は、裏面にあります。
- (2) あてはまるものの番号(数字)を○印でかこんで、お答えください。
- (3) いくつかの質問には、枠内に文字・数字を直接ご記入ください。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

図3 アンケートお願い分（開業前後共通）

図5 開業後調査アンケート（表）

図6 開業後調査アンケート（裏）

和倉温泉 宿泊者アンケート調査にご協力願います。

I. 今回の旅行について教えてください。

(1) 今回の旅行の目的は何ですか？
1) 観光 2) ビジネス 3) 観光及びビジネス 4) その他 ()

(2) 今回の旅行はどなたと来ましたか？
1) 一人で 2) 夫婦・カップルで 3) 子ども連れの家族で
4) 大人(18歳以上)のみの家族で 5) 友人・知人で
6) 団体で(職場、地域、サークル等) 7) その他 ()

(3) 今回の旅行は、あなた自身も含めて何人で来ましたか？
()人

(4) 何泊何日の旅行ですか？
1) 1泊2日
2) 2泊3日(前泊地、あるいは後泊地はどこですか。)
前泊地()、あるいは後泊地()
3) 3泊4日以上(前泊地、後泊地はどこですか。両方、お答えください。)
前泊地()、後泊地()

(5) 和倉温泉までの交通手段(移動手段)を教えてください。
1) 自宅からマイカー 2) 団体ツアーバス
3) 路線バス・特急バス 4) 能登空港からふるさとタクシー
5) 能登空港からレンタカー 6) 小松空港からレンタカー
7) 金沢方面からレンタカー 8) 高岡・米見方面からレンタカー
9) JR(金沢方面から) 10) のと鉄道(穴水方面から)
11) その他()

II. あなたのことについて教えてください。

(1) あなたのお住まいは、どちらですか？
1) 七尾市内 2) 石川県内(七尾市以外)
3) ()都・道・府・県

(2) この1年間に、何回、旅行をされましたか？
1) 1回(今回のみ) 2) 2回
3) 3~5回 4) 6~9回 5) 10回以上

(3) 上記のうち、何回、温泉旅館・温泉ホテルに宿泊されましたか？
()回

(4) あなたの性別を教えてください。
1) 男性 2) 女性

(5) あなたの年齢を教えてください。
1) 20歳未満 2) 20代 3) 30代 4) 40代
5) 50代 6) 60代 7) 70歳以上

(6) あなたの職業を教えてください。
1) 会社員 2) 公務員 3) 会社役員
4) 自営業 5) 大学生・大学院生 6) 主婦・主夫
7) 無職(主婦等除く) 8) 団体職員 9) その他()

図4 開業前調査アンケート

七尾市街 宿泊者アンケート調査にご協力願います。

I. 今回の旅行について教えてください。

(1) 今回の旅行の目的は何ですか？
1) 観光 2) ビジネス 3) 観光及びビジネス 4) その他 ()

(2) 今回の旅行はどなたと来ましたか？
1) 一人で 2) 夫婦・カップルで 3) 子ども連れの家族で
4) 大人(18歳以上)のみの家族で 5) 友人・知人で
6) 団体で(職場、地域、サークル等) 7) その他 ()

(3) 今回の旅行は、あなた自身も含めて何人で来ましたか？
(/)人

(4) 何泊何日の旅行ですか？
1) 1泊2日
2) 2泊3日(前泊地、あるいは後泊地はどこですか。)
前泊地()、あるいは後泊地()
3) 3泊4日以上(前泊地、後泊地はどこですか。両方、お答えください。)
前泊地()、後泊地(和倉温泉)

(5) 七尾市の情報は、何を見て入手しましたか？
1) 七尾市ホームページ 2) 七尾市観光協会ホームページ
3) その他観光情報サイト 4) 観光ガイドブック(まっぷる、るるぶ等)
5) 観光パンフレット 6) その他 ()

(6) 七尾市街までの交通手段(移動手段)を教えてください。
1) 自宅からマイカー 2) 団体ツアーバス
3) 路線バス・特急バス 4) 能登空港からふるさとタクシー
5) 能登空港からレンタカー 6) 小松空港からレンタカー
7) 金沢方面からレンタカー 8) 高岡・米見方面からレンタカー
9) JR(金沢方面から) 10) のと鉄道(穴水方面から)
11) その他()

II. あなたのことについて教えてください。

(1) あなたのお住まいは、どちらですか？
1) 七尾市内 2) 石川県内(七尾市以外)
3) (鹿角島)都・道・府・県

(2) この1年間に、何回、旅行をされましたか？
1) 1回(今回のみ) 2) 2回
3) 3~5回 4) 6~9回 5) 10回以上

(3) 上記のうち、何回、温泉旅館・温泉ホテルに宿泊されましたか？
(/)回

(4) あなたの性別を教えてください。
1) 男性 2) 女性

(5) あなたの年齢を教えてください。
1) 20歳未満 2) 20代 3) 30代 4) 40代
5) 50代 6) 60代 7) 70歳以上

(6) あなたの職業を教えてください。
1) 会社員 2) 公務員 3) 会社役員
4) 自営業 5) 大学生・大学院生 6) 主婦・主夫
7) 無職(主婦等除く) 8) 団体職員 9) その他()

図7 開業後調査アンケート（簡易版）

5. 分析結果

調査アンケートの回収状況を表2に示す。開業前調査アンケートの配布枚数は2014年11月から2015年3月までで2000枚、回収枚数は1266枚、回収率は63.3%である。開業前調査は5ヶ月間という短い期間で行ったため、宿泊宿・ホテルに依頼し、とにかく回収に尽力して頂いた。結果、回収率は非常に高いものとなった。

5.1 開業前調査アンケート分析結果

「今回の旅行の目的は何ですか？」の回答は図8の通りである。旅行目的の割合は、観光目的が31%、ビジネス目的が49%であった。ビジネス目的が観光目的を上回る結果となった。

「今回の旅行はどなたと来ましたか？」の回答は図9の通りである。旅行同行者は、「一人で」が43%、「夫婦・カップルで」が18%、「子連れの家族で」が8%であった。二人以上の宿泊客は50%を超える結果であった。

「今回の旅行は、あなた自身も含めて何人で来ましたか？」の回答は図10の通りである。旅行人数は1人が33%、2人が26%、16人のグループ旅行が18%であった。家族旅行に加えて、グループ旅行の割合も多い。

「何泊何日の旅行ですか？」の回答は図11の通りである。1泊2日は54%、2泊3日が27%、3泊4日が17%であった。この結果から半数が1泊2日の旅行形態であった。

「和倉温泉までの交通手段（移動手段）を教えてください。」の回答は図12と表3の通りである。和倉温泉までの交通手段は自宅からのマイカーが54%であり、次いでJR（金沢方面）からが22%であった。約10%が空港等からレンタカーを利用している。

「あなたのお住まいは、どちらですか？」の回答は図13と表4の通りである。和倉温泉を訪れる宿泊客の約76%が県外の宿泊客であり、約23%が石川県内の宿泊客であった。県外からの宿泊客のうち、約15%は大阪府、約13%は東京都からの宿泊客であった。

「この1年間に、何回、旅行をされましたか？」の回答は図14の通りである。3～5回の回答が約34%で一番多く、10回以上との回答も約26%と多かった。

「上記のうち、何回、温泉旅館・ホテルに宿泊されましたか？」の回答は図15の通りである。2回以内が約62%と半数以上を占めた。また、10回以上は約8%となった。

「あなたの性別を教えてください。」の回答は図16の通りである。今回は男性が約67%と多かった。

「あなたの年齢を教えてください。」の回答は図17の通りである。20歳未満が約1%と非常に少なく、20代を

含めても約9%、更に30代を含めても約26%と若い旅行者が少ない事がわかった。

「あなたの職業を教えてください。」の回答は図18の通りである。会社員が約58%と半数以上を占め、続いて主婦・主夫が約10%で多かった。

表2 調査アンケート回収状況

	開業前調査	開業後調査(詳細版)	開業後調査(簡易版)
配布枚数	2014年11月:200枚 2014年12月:400枚 2015年1月:600枚 2015年2月:400枚 2015年3月:400枚	2015年4月:583枚	2015年4月:1750枚
回収枚数	2014年11月:79枚 2014年12月:276枚 2015年1月:449枚 2015年2月:197枚 2015年3月:265枚	2015年4月:-	2015年4月:-
回収率	2014年11月:39.5% 2014年12月:69.0% 2015年1月:74.9% 2015年2月:49.3% 2015年3月:66.3%	2015年4月:-	2015年4月:-

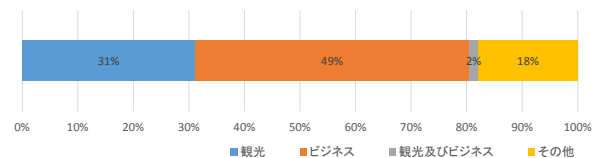


図8 旅行目的

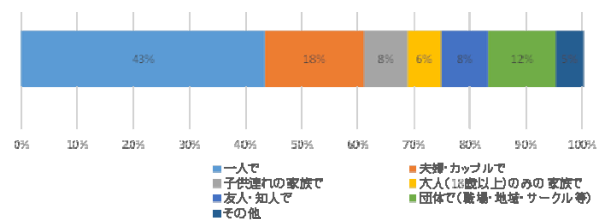


図9 旅行同行者

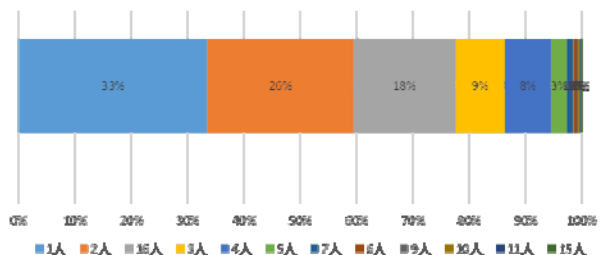


図10 旅行人数

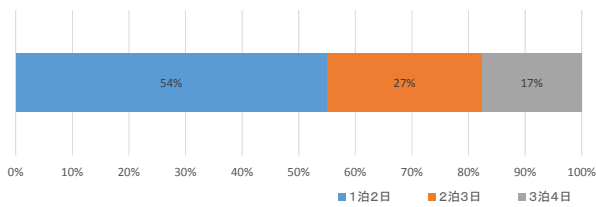


図11 宿泊数

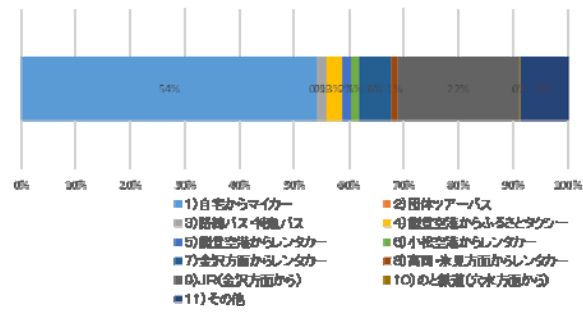


図12 和倉温泉までの交通手段

表3 交通手段の割合 (その他)

1) 自宅からマイカー	54%
2) 団体ツアーバス	0%
3) 路線バス・特急バス	2%
4) 能登空港からふるさとタクシー	3%
5) 能登空港からレンタカー	2%
6) 小松空港からレンタカー	1%
7) 金沢方面からレンタカー	6%
8) 高岡・氷見方面からレンタカー	1%
9) JR(金沢方面から)	22%
10) のと鉄道(穴水方面から)	0.3%
11) その他	9%

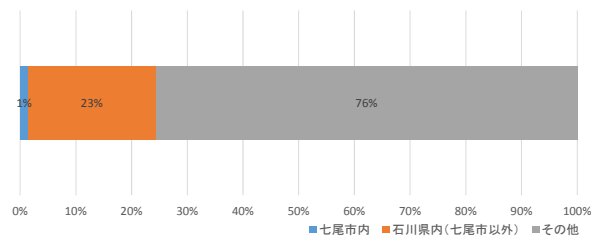


図13 回答者の住まい

表4 回答者の住まい (その他)

都道府県	人数	割合	都道府県	人数	割合
大阪府	40	15%	岡山県	4	2%
東京都	35	13%	群馬県	4	2%
愛知県	20	8%	栃木県	3	1%
新潟県	20	8%	奈良県	3	1%
神奈川県	18	7%	福島県	3	1%
兵庫県	17	6%	北海道	3	1%
富山県	16	6%	高知県	2	1%
千葉県	9	3%	徳島県	2	1%
福井県	9	3%	福岡県	2	1%
京都府	8	3%	宮城県	1	0.4%
埼玉県	8	3%	熊本県	1	0.4%
三重県	7	3%	鹿児島県	1	0.4%
滋賀県	7	3%	秋田県	1	0.4%
岐阜県	6	2%	静岡県	1	0.4%
茨城県	5	2%	鳥取県	1	0.4%
長野県	5	2%	和歌山県	1	0.4%

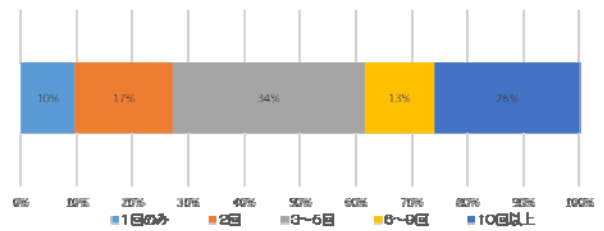


図14 年間旅行回数

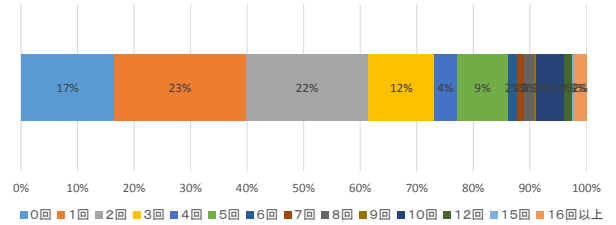


図15 温泉旅館・温泉ホテルの宿泊回数

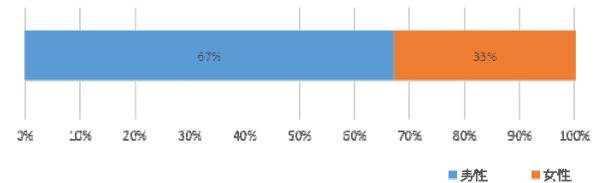


図16 回答者の性別割合

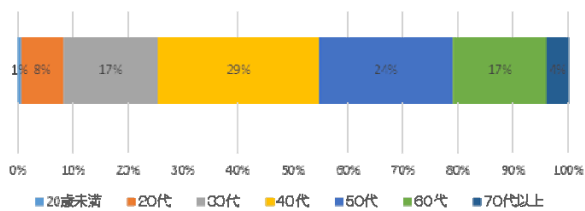


図17 回答者の年齢

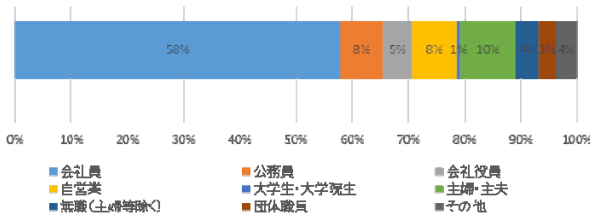


図18 回答者の職業

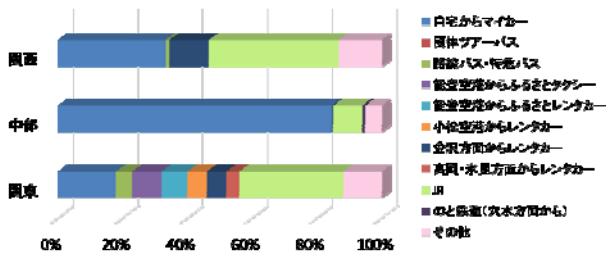


図19 利用交通手段

6. 結論と今後の課題

本研究では、北陸新幹線開業により、観光客の行動形態がどのように変化するかを調査するため、開業前後の和倉温泉・七尾市内の入込客の行動形態を調査した。開業後調査アンケートについては、詳細版と簡

易版を用意し、現在、簡易版は1ヶ月に1500枚ずつ、詳細版は1ヶ月に583枚ずつ配布している。また、開業後調査からは対象地域を追加し、能登島及び能登小牧台にそれぞれ、簡易版アンケートを1ヶ月に250枚ずつ配布予定である。

また、今回の分析では、新幹線開業前において1泊2日の旅行形態客が多かったこと、及びマイカーによる入り込みが多いこと、大阪からの入込客が多いことがわかった。加えて、図19に示した通り、関西圏からの入込客はマイカー・JRの利用率が高く、中部圏からの入込客はマイカーの利用率が高く、関東圏からの入込客は様々な交通手段を利用することがわかった。今後も通年(～2016年3月)でアンケートを回収し、今回の分析結果が開業後にはどの様に変化をするのかに注目しつつ、加えて、和倉温泉・七尾市における季節ごとの観光形態分析を行っていく。

7. 参考文献

- 1) 鈴木大智, 藤生慎, 高山純一, 中山昌一朗: 「旅のつづやき」を用いた観光地の満足度評価手法の構築, 土木学会中部支部講演概要集, 2015.4
- 2) 株式会社日本政策投資銀行北陸視点地域企画部: 「北陸新幹線金沢開業による石川県内への経済波及効果」2013.3
- 3) 青木拓也, 向井智哉, 久保田萌, 小池光右, 田口七生: 七尾「和倉温泉」宿泊客の特性に基づく温泉まちづくりの提案, 金沢大学理工学域環境デザイン学類・環境デザイン演習取りまとめ資料, 2014.12

CHALLENGES OF REGIONAL TOURISM COOPERATION AFTER HOKURIKU SHINKANSEN OPENED

Yuto SHIMEI · Makoto FUJII · Jyun-ichi TAKAYAMA and Syoichiro NAKAYAMA

Hokuriku Shinkansen was opened on March 14, 2015. Many tourists can come to Hokuriku region easily because of decreasing travel time from Kanto area. Moreover, tourism area for tourist might be expanding not only Kanazawa area but also Hokuriku area. Then, it is necessary to analyze the behavior of tourist in Hokuriku region after the Hokuriku Shinkansen opened. In this study, questionnaire surveys were conducted in Wakura area and Nanao area. As a result of questionnaire survey, it become clear that transportation mode is different each residential area and share of tourist from Kansai region is dominant.